

環境レポート

2009 年度

山協印刷株式会社

私たちの住む地球は、20世紀から21世紀に入り、科学の発達により人類は、生活上のさまざまな利便さを受けてきました。

しかし、それらの結果、大量生産・大量消費による負の遺産が大きく我々の生活を、圧迫してきております。

わたしたちは何としても、この負の遺産を子供たちに引き継ぐようなことをしてはなりません。

当社は、印刷業という事業を通じて、環境への負担を軽減し、緑豊かな地球を残すべく、努力をしていくことを経営の基本事項として、日々活動しております。(カーボンフットプリントの研修・グリーン購入のスキーム作りなど)

ここに、私どもの本年どの環境対策・活動の結果をご報告します。

環 境 宣 言

☆☆☆☆☆ 理 念 ☆☆☆☆☆

山協印刷株式会社は、宇宙のオアシスかけがえのない星・地球の環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

***** 方 針 *****

山協印刷株式会社は商業宣伝企画、デジタル製版、オフセット印刷、通信機器の販売に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境にあたる影響を確実に評価し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連法的及び当社が同意したその他の要求事項の順守を約束します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、次の項目を重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 省資源活動
 - (2) 省エネルギー活動
 - (3) 廃棄物発生量の削減
 - (4) グリーン購入の推進
 - (5) 工場周辺の清掃等啓発活動
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるよう、この環境宣言を組織で働く全員に周知するとともに、一般の人々が入手できるようにします。

以上の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメントシステムを推進します。

改定日 2010年 4月 1日

制定日 2008年 2月 1日

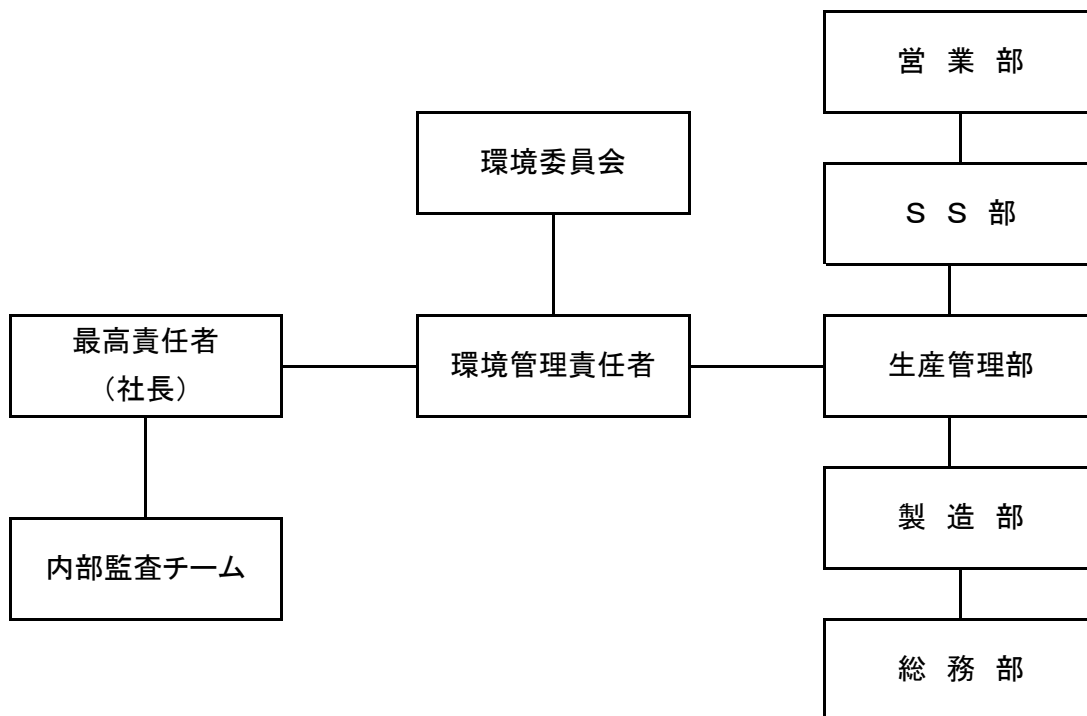
山協印刷株式会社

代表取締役 杉山 昌行

会社概要

- ①会社名 山協印刷株式会社
- ②所在地 本社及び工場：神奈川県平塚市大神 3156
東京営業所：東京都目黒区東山 3-15-1 出光池尻ビル 6F
- ③事業内容 商業宣伝企画 デジタル製版 オフセット印刷 電気機器の販売
- ④代表取締役 杉山 昌行
- ⑤資本金 144,107,650 円
- ⑥従業員数 120名
- ⑦敷地面積 9,045㎡
- ⑧延床面積 6,068㎡
- ⑨沿革 1949年 5月 平塚市見附町にて、新進堂印刷(株)として石版印刷を開始
2008年 6月 KES 環境マネジメントシステム・ステップ2 登録

I. 環活動の取り組み体制



II. 認証取得内容

KES登録証

登録日:2008年6月1日

登録番号:KES2-9-0003

III. 環境活動の内容と実績

環境改善目標	施策	目標値	実績値	評価
電力使用量削減	機器の未使用時電源 off	3%削減	16%削減	A
都市ガス使用量削減	エアコン温度設定管理。他	3%削減	23%削減	A
ガソリン使用量削減	省エネ運転の励行。他	5%削減	5%削減	A
ヤレ紙排出量削減	機器のメンテナンスの充実	5%削減	15%削減	A
事務用紙使用量削減	資料の電子化。他	16%削減	33%削減	A
PRT法関連削減	含有品の使用制限。代替化	12%削減	14%削減	A
工場周辺清掃	部門ごとに当番を決め実施	月2回実施	月2回実施	A

*目標値の削減%は、対前年値比。

*評価記号A:良好(100%以上) B:やや不足(90~100%) C:不適合(90%以下)

IV. 具体的環境活動のご紹介

☆電力の削減では、各部署ごとに未使用時の機器の電源off、待機電力の削減、稼働印刷機の削減(稼働の効率化)などを施策に掲げて、活動を行いました。

部署ごとに担当責任者が、日々の削減実績を確認し施策の徹底を指導した。

☆都市ガスの削減では、殆どどの部署のエアコンが都市ガスを使用しているため、温度設定や使用制限など各部署担当者が管理を行い実施した。

☆ガソリン使用量の削減では、営業活動の効率化、社用車の無駄な利用禁止、公共輸送機関の利用、省エネ運転の励行等を施策として、営業部長を先頭に管理担当者が月々の管理を行い、施策の徹底を指導した。

☆ヤレ紙排出削減では、製造部内で細かな施策や稼働ルールを設定し、部門全体の目標として取り組み、チームごとの目標として落とし込み活動をした。

☆事務用紙削減では、Eメールやイントラネットを活用、裏面の利用等を徹底し部署ごとに月々の棚卸しをし、管理・活動をした。

☆PRTR法関連削減では、含有品使用量の削減、代替品への移行を行い活動を行った。

☆工場周辺の清掃では、各部署ごとに清掃担当月を設定し、確実に実行した。

VII. 環境関連法規の遵守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規背などについては、遵守状況を定期的に確認し、関係する機関や関係者から指摘・訴訟などはない。

VIII. 2009年度活動の評価と今後の課題

100年に1度といわれた経済環境下であった為、工場にシフト変更などを実施したことから、電量・都市ガスは大幅に削減出来た。

2010度については、略前年と同様の項目とし、PRTR法は活動は継続するが管理項目としては外し、グリーン購入の調査・目標設定と入れ替える。

IX. 第三者の証明

審査機関の証明

環境管理責任者、環境委員会を中心にマネージメントシステムが機能され、意識付けが進んでいることを確認しました。ガソリン使用については、前年の「売上原単位」から「1000kmごとの使用量」削減に変更され、より実態に合った管理に改善されています。今後の活動及び成果に期待します。

KESステップ2の要求事項に合致しています。

KES主審査員 栗山典明